

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育



# 1 日防災学校 実践事例

～実践的な防災教育の推進～



## Contents

## □ 学校での実践事例

## ○ 幼稚園

- Case 1 防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」
- Case 2 地震発生から津波警報発表時の避難訓練
- Case 3 保護者への引き渡しのシミュレーション



## ○ 小学校

- Case 1 災害派遣車両の見学と体験（全学年）
- Case 2 津波体験（高学年）
- Case 3 段ボールベッド設営体験（中学年～高学年）



## ○ 中学校

- Case 1 地域や関係機関と連携した防災学習
- Case 2 NHK防災学習
- Case 3 町のデジタルハザードマップの活用



## ○ 高等学校

- Case 1 防災講話と防災テントの組み立て
- Case 2 避難所設営体験
- Case 3 フィールドワーク（過去の被災場所の見学）



## ○ 特別支援学校

- Case 1 消火器体験と防災グッズ体験（肢体不自由・小学部）
- Case 2 煙体験（スモークマシン）（聴覚障がい・小中学部）
- Case 3 防災講話と防災〇×クイズ（知的障がい・高等部）



自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 学校での実践事例

# 本資料の活用にあたって

実践事例は、次の項目で整理し、まとめています。

## Case 1 災害派遣車両の見学と体験



【警察の災害派遣車両見学の様子】



【自衛隊の災害派遣車両見学の様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・警察、自衛隊、消防の各災害派遣車両の見学など、防災関係機関の仕事を体験的に学ぶことによって、児童の防災への関心を高める。

### ○ 内容（生活科、社会科）

- ・災害派遣車両の使用用途などについての説明を聞き、災害から子どもたちを守ってくれる仕事について学びます。

災害派遣車両への乗車等を通じて、防災への関心を高めましょう。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・各関係機関との依頼、調整は市町村防災担当部局が行う。
- ・警察、自衛隊、消防に依頼

取組名と学年や障がい種等を記載しています。

取組のねらいやポイントを、記載しています。

取組内容を記載しています。

具体的な指導内容や子どもたちに意識させたい内容を記載しています。

協力していただいた防災関係機関等を記載しています。

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 幼稚園

**Case 1**

防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」

**Case 2**

地震発生から津波警報発表時の避難訓練

**Case 3**

保護者への引き渡しのシミュレーション

# 幼稚園の時間割 (例)

1	内容	ぼうさいダック	Case1
2	内容	地震発生から津波警報発表時の避難訓練	Case2
降園時	内容	保護者への引き渡しのシミュレーション	Case3

# Case1 防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」

No.	防災の対象	動物	声	コメント(下段はポーズ)	メッセージ
1	地震	ダック	ダック!	じしんのときは… 「ダック」のポーズ ※両手を頭に乗せかがみ込む	まず あたまを まもろう。 (じょうぶな つくえの したに もくろう。)
2	津波	チータ	びゅん	つなみのときは… 「チータ」のポーズ ※両手を早く取る	できるだけ たかいところまで はしろう。
3	火事	タヌキ	うっ	かじのときは… 「タヌキ」のポーズ ※両手を口にあてる	ぬれたハンカチを くちに あてよう。 (いつも ハンカチをも つようにね。)
4	台風	ウサギ	しーん (…驚る)	たいふうのときは… 「ウサギ」のポーズ ※両耳に手をあてる	じょうほうを きましょ。う。
5	洪水	カエル	ケロケロ	こうずいのときは… 「カエル」のポーズ ※くつをはくように	しっかりあるけるように じゅんびし。う。
6	雷	カメ	ゴロゴロ	かみなりのときは… 「カメ」のポーズ ※体を丸めて低くかまえる	からだをまるめて ひくく かがもう。 たてももの なかに にげるのが あんぜん。

【幼児に提示するカード一覧 (一部)】



【幼児がダックのポーズで頭を守っている様子】

## ○ ねらい・ポイント

- 子どもたちが実際に体を動かし、声を出して遊びながら、安全・安心への「最初の第一歩」を自然と身に付ける。

## ○ 内容

- 先生などの進行役が、災害のイラストの描かれたカードを提示します。
- 子どもたちは、カードに応じて素早く対応行動のポーズを取ります。

カードの説明書を活用して、ポーズの解説をし、子どもたちの理解を深めましょう。

## Case2 地震発生から津波警報発表時の避難訓練



【幼児が机の下に隠れている様子】



【幼児が消防署員の話聞く様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・津波警報が発表された時の園外への避難の仕方が分かり、教職員の指示に従い、素早く行動できるようにする。

### ○ 内容

- ・幼児の命を守るため、迅速に状況判断・避難場所の決定・避難誘導できるようにします。

命を守るために自分ができることやしなければならないことは何か考え行動できるようにしましょう。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・地元消防署職員による説明と避難訓練の講評



## Case3 保護者への引き渡しのシミュレーション



【幼児を整列させる様子】



【保護者への引き渡しの様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・大規模な災害発生時、通信手段の途絶や交通機関が麻痺する場合を想定し、幼児の安全を確保し、命を守るため、家庭や地域と連携した引き渡し訓練を行う。

### ○ 内容

- ・災害時を想定して、災害時の保護者への引き渡しのシミュレーションを行います。

保護者と連絡が取れない場合など、引き渡しや待機の判断に関し、園と保護者との間で事前にルールを決めておきましょう。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・家庭や地元消防署

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 小学校

- Case 1** 災害派遣車両の見学と体験（全学年）
- Case 2** 津波体験（高学年）
- Case 3** 段ボールベッド設営体験（中学年～高学年）

# 小学校の時間割（例）

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
1	教科	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動
	内容	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練
2	教科	生活	生活	図工	社会	社会	社会
	内容	絵本・防災カルタ	絵本・防災カルタ	新聞紙スリッパ	災害派遣車両の見学と体験	災害派遣車両の見学と体験	災害派遣車両の見学と体験
3	教科	生活	生活	社会	図工	総合	体育
	内容	災害派遣車両の見学と体験	災害派遣車両の見学と体験	災害派遣車両の見学と体験	新聞紙スリッパ	避難所設営体験	応急処置
4	教科	学活	学活	学活	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
	内容	振り返り	振り返り	振り返り	津波実験	津波体験	津波体験
5	教科				学活	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
	内容				振り返り	段ボールベッド設営体験	段ボールベッド設営体験
6	教科						
	内容						

Case1

Case2

Case3

# Case 1 災害派遣車両の見学と体験（全学年）



【警察の災害派遣車両見学の様子】

## ○ ねらい・ポイント

- ・警察、自衛隊、消防の各災害派遣車両の見学など、防災関係機関の仕事を体験的に学ぶことによって、児童の防災への関心を高める。

## ○ 内容（生活科、社会科）

- ・災害派遣車両の使用用途などについての説明を聞き、災害から子どもたちを守ってくれる仕事について学びます。

災害派遣車両への乗車等を通じて、防災への関心を高めましょう。



【自衛隊の災害派遣車両見学の様子】

## ○ 地域や関係機関との連携

- ・市町村防災担当部局による関係機関との調整
- ・警察、自衛隊、消防に依頼

## Case 2 津波体験（中学年～高学年）



【気象台職員による津波発生メカニズムの説明】



【実験模型による津波体験の様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・ 実験模型を活用するなど、体験的な活動を通して児童の防災意識を向上させる。

### ○ 内容（総合的な学習の時間）

#### 【津波体験】

- ・ 実験模型により津波の恐ろしさを実感
- ・ 次時に行う津波を想定した避難訓練を見据え、避難の際の心構えについて指導

#### 【避難訓練】

- ・ 大規模な津波が発生した想定の下、津波災害に対応できる施設への避難訓練

「周囲の人を押さない」など、避難時の約束事を守りながら冷静に行動するよう呼び掛けましょう。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・ 気象庁地方気象台職員による説明

## Case 3 段ボールベッド設営体験（高学年）



【高校生の説明を聞く様子】



【段ボールベッドを一緒に体験する様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・ 段ボールベッドの設営体験を通じて、災害時の避難所生活や運営についてイメージし、理解できるようにする。

### ○ 内容（総合的な学習の時間）

- ・ 高校生が小学生に段ボールベッドの組立方法を教えます。
- ・ 避難所での生活について、地域防災マスターの生徒が説明します。

説明をする高校生、説明を聞く小学生の双方にとって、段ボールベッドの有効性についての理解が深まります。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・ 市町村防災担当部局
- ・ 地域の高校

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 中学校

**Case 1**

地域や関係機関と連携した防災学習

**Case 2**

NHK防災教室

**Case 3**

町のデジタルハザードマップの活用

# 中学校の時間割 (例)

		1 学年	2 学年	3 学年
1	教科	特別活動	特別活動	特別活動
	内容	避難訓練	避難訓練	避難訓練
2	教科	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
	内容	防災学習	防災学習	防災学習
3	教科	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
	内容	NHK防災教室	NHK防災教室	NHK防災教室
4	教科	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
	内容	NHK防災教室	NHK防災教室	NHK防災教室
5	教科	社会		
	内容	デジタルハザードマップ		
6	教科	社会		
	内容	デジタルハザードマップ		

Case1

Case2

Case3



# Case 1 地域や関係機関と連携した防災学習（全学年）



【大学の先生による講義の様子】



【防災倉庫の見学の様子】



【防災備蓄食の試食の様子】

## ○ ねらい・ポイント

- ・地域の防災に係る学習を通じて、災害時に自らの役割を考え、行動できるようにする。

## ○ 内容（総合的な学習の時間）

### 【大学の先生による講義】

- ・大学の先生による地震のメカニズムについての講義

### 【防災倉庫見学・防災備蓄食の試食】

- ・地域の防災倉庫の見学
- ・防災備蓄食の試食

地域の防災に係る取組を知ることによって、災害時の自らの役割を考えることができます。

## ○ 地域や関係機関との連携

- ・地域の大学の先生による講義
- ・市町村防災担当部局
- ・給食センター

## Case 2 NHK防災教室（全学年）

### ○ ねらい・ポイント

- ・NHKの豊富な動画や情報に触れることで、さまざまな災害に備える術を身に付ける。



【NHKアナウンサーによるオンライン授業】

### ○ 内容（総合的な学習の時間）

#### 【NHKアナウンサーのオンライン授業】

- ・NHKアナウンサーからオンラインで災害から身を守るニュースなどについて学びます。

#### 【AR浸水体験】

- ・画面に合成される拡張現実（AR）技術を活用し、津波・洪水ハザードマップなどの浸水の深さを可視化することにより、災害時の状況がリアルに体験できます。

地域の人と一緒に防災教室を開催することで、地域の防災リテラシー向上につなげることができます。



【AR浸水体験の様子】

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・NHK防災教室

## Case 3 町のデジタルハザードマップの活用（1学年）



【デジタルハザードマップの活用】



【町職員の話聞く様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・自然災害と防災・減災への取組について、教科の知識と関連付けて学習することにより、災害時の適切な判断や行動につなげる。

### ○ 内容（社会科）

- ・自然災害と防災・減災への取組について、社会科地理的分野「日本の様々な地域」と関連付けて授業を行います。
- ・町のデジタルハザードマップで身の回りの危険個所を確認します。



自然災害については、防災対策にとどまらず、災害時の対応や復旧、復興を見据えた視点からの取り扱いも大切です。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・市町村防災担当部局職員が講話

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 高等学校

- Case 1** 防災講話と防災テントの組み立て
- Case 2** 避難所運営体験
- Case 3** フィールドワーク（過去の被災場所見学）

# 高校の時間割 (例)

		1 学年	2 学年	3 学年
1	教科	特別活動	特別活動	特別活動
	内容	避難訓練	避難訓練	避難訓練
2	教科	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間
	内容	防災講話	防災講話	防災講話
3	教科	特別活動	特別活動	特別活動
	内容	防災テント組み立て	防災テント組み立て	防災テント組み立て
4	教科	特別活動	特別活動	特別活動
	内容	避難所運営体験	避難所運営体験	避難所運営体験
5	教科	保健	総合的な探究の時間	特別活動
	内容	応急処置	Doはぐ	フィールドワーク
6	教科	保健	総合的な探究の時間	特別活動
	内容	応急処置	Doはぐ	フィールドワーク

Case1

Case2

Case3

# Case 1 防災講話と防災テントの組み立て（全学年）



【外部講師による防災講話の様子】



【防災テント組み立ての様子】

## ○ ねらい・ポイント

- ・ 防災講話と防災テントの設営体験等を通じて、災害時の避難所生活や運営についてイメージし、理解できるようにする。

## ○ 内容（特別活動）

### 【防災講話】

- ・ 地域で過去に起こった災害や今後想定される災害、災害への備えについての講話

### 【防災テントの組み立て】

- ・ プライベート空間を確保しながら生活するための防災テントの設営の体験



避難所開設・運営にはどのような準備や対策が必要か理解が深まります。

## ○ 地域や関係機関との連携

- ・ 市町村防災担当部局や振興局職員
- ・ 市町村の避難訓練等に合わせて実施し、地域住民も参加

## Case 2 避難所運営体験（全学年）



【避難所で受付する様子】



【受付で検温する様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・学校が避難所となった場合の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営体験を通じて、災害時の避難所生活や運営についてイメージし、理解できるようにする。

### ○ 内容（特別活動）

- ・市町村防災担当部局職員から避難所の配置、緊急時の関係機関・地域との業務連携や備えなどについて説明してもらいます。
- ・実際の避難所運営を体験します。

避難所生活におけるプライベート空間の確保の必要性や他者への配慮を理解するとともに、避難所開設・運営にはどのような準備や対策が必要か理解が深まります。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・市町村の自主防災組織
- ・市町村防災担当部局

## Case 3 フィールドワーク（過去の被災場所見学）（3 学年）



【過去の水害の状況の説明を聞いている様子】




【過去の水害の状況をipadの写真で確認している様子】

### ○ ねらい・ポイント

- ・過去の被災場所を実際に訪れ、水害の状況や周辺情報から町の防災対策や危険個所について理解する。
- ・過去の災害の伝承。

### ○ 内容（特別活動）

- ・市町村防災担当部局職員から過去の水害の状況の説明を聞きます。
- ・過去の水害の状況をiPadの写真で確認して、現在の状況と比較し、過去の災害を学びます。

 iPadを活用し、当時と現在の写真を比較、ハザードマップをもとに防災意識を高めます。

### ○ 地域や関係機関との連携

- ・市町村防災担当部局や振興局職員



自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 特別支援学校

## Case 1

消火器体験と防災グッズ体験  
(肢体不自由・小学部)

## Case 2

煙体験 (聴覚障がい・小中学部)

## Case 3

防災講話と防災〇×クイズ (知的障がい・高等部)

# 特別支援学校の時間割（例）

		小学部	中学部	高等部	
1	教科	特別活動	特別活動	特別活動	
	内容	避難訓練	避難訓練	避難訓練	
2	教科	特別活動	特別活動	特別活動	Case1
	内容	消火器体験 防災グッズ体験	消火器体験 防災グッズ体験	消火器体験 防災グッズ体験	
3	教科	特別活動	特別活動	特別活動	Case2
	内容	煙体験	煙体験	煙体験	
4	教科	特別活動	特別活動	特別活動	Case3
	内容	防災講話 防災〇×クイズ	防災講話 防災〇×クイズ	防災講話 防災〇×クイズ	
給食	食育	防災給食	防災給食	防災給食	

# Case 1 消火器体験と防災グッズ体験（肢体不自由・小学部）



【消火器体験の様子】



【段ボールベッドを体験する様子】

- **ねらい・ポイント**
  - ・ 消火器体験や防災グッズ体験を通して防災への興味関心を高める。

## ○ 内容（特別活動）

### 【消火器体験】

- ・ 消火器を実際に使用し体験

### 【防災グッズ体験】

- ・ 段ボールベッドを実際に使用して体験
- ・ 災害時における避難所の実際の様子についても説明を聞く

消火器体験や防災グッズに触れることで、防災に興味・関心を高めましょう。

## ○ 地域や関係機関との連携

- ・ 地元消防署と連携した体験活動
- ・ 市町村所有の段ボールベッドの借用

## Case 2 煙体験（聴覚障がい・小中学部）



【テントを設置する様子】



【煙体験をする様子】

### ○ **ねらい・ポイント**

- ・火災における煙の疑似体験を通して、火災時の避難方法や煙の特性を理解する。

### ○ **内容（特別活動）**

- ・消防署員が事前に煙体験テントを設置し、スモークマシンを用いてテント内に煙を充満させ、児童生徒が順番にテントに入り煙体験をします。

視界の悪さや息苦しさを体験することで、火災時の安全な避難方法を確認しましょう。

### ○ **地域や関係機関との連携**

- ・地元消防署職員

# Case 3 防災講話と防災〇×クイズ（知的障がい・高等部）



【防災講話の様子】



【防災〇×クイズの様子】

## ○ ねらい・ポイント

- ・ 防災講話や防災〇×クイズを通して、災害の知識と備えについて理解する。

## ○ 内容（特別活動）

### 【防災講話】

- ・ 振興局防災担当職員から、緊急地震速報の仕組みや災害への備え等について説明

### 【防災〇×クイズ】

- ・ クイズ形式で災害の知識と大切な備えについて学ぶ。

生徒がクイズの問題を考えることで、防災に関する知識を主体的に学ぶ姿勢を身に付けることができます。

## ○ 地域や関係機関との連携

- ・ 市町村防災担当部局や振興局防災担当職員による講話、解説